

③図書館評価

図書館評価について

図書館はサービスの向上を図るため、目標及び事業計画等の達成状況について指標や目標値を定め、毎年度図書館評価を行っています。平成29年度は、さいたま市図書館ビジョンの2.2の基本方針を評価の目標として、その達成度合いを測るのにふさわしい57の指標及び目標値を設け、評価を実施します。

平成29年度目標、指標及び目標値

目標	指標	目標値
図書館利用の普及とPR及び情報発信の強化	新規登録者数	32,100人
	貸出総数	9,393,000点
	来館者数	6,412,000人
	貸出利用人数	2,674,000人
	市民一人当たりの貸出数	7.4点以上
	メールマガジン配信件数	20,100件
	パブリシティ件数	40件
幅広く計画的な資料の収集・保存	資料回転率	2.54点
	雑誌タイトル数	869タイトル
	新聞タイトル数	125タイトル
	所蔵タイトル数(図書)	1,111,000タイトル
	市民一人当たりの資料数	2.9点
地域の歴史と文化の保存	地域・行政資料の蔵書数	145,300点
	デジタル化した地域資料のインターネット公開	実施
ICT(情報通信技術)を活用したサービスの充実	ホームページコンテンツの充実	実施
	インターネット(無線LANを含む)延利用人数	126,900人
	自動貸出機の整備	実施
文化事業の開催	講座等の実施回数	103回
	映画会の開催回数	87回
	展示会の開催回数	20回
あらゆる世代に向けたサービスの充実	テーマ資料展示の実施回数	763回
	各世代向けの本の紹介資料作成	102点
レファレンスサービスの充実	レファレンス受付件数	101,000件
	レファレンス事例の公開件数	154件
	職員レファレンス研修の開催回数	10回
	パスファインダー(調べ方案内)作成数	12タイトル
地域の課題解決	町おこしや地域活性化、地域コミュニティなどの課題に関わる資料の市民への提供	実施
	市の各所管からの業務に対する問合せ件数	21回
生活支援サービスの展開	日常生活での課題解決に関わる分野の情報提供の取組	実施
バリアフリーサービスの充実	音訳資料・点訳資料の所蔵数	3,290点
	対面朗読回数	169回
	宅配サービスの貸出数	406点
多文化サービスの充実	外国語資料の受入点数	778点
	多文化サービスに関わる展示	実施
子ども読書活動への支援及び学校図書館との連携	小学生の不読者の割合	2%以下
	中学生の不読者の割合	5%以下
	高校生の不読者の割合	38.1%以下
	子ども向け行事開催数	1,150回
	読みかきかせや本に関する講座・講演会の実施	10回
	子ども向けの資料案内の作成	36回
	学校・保育園等に対する訪問・招待実施回数	336回
図書館評価と市民意識の反映	図書館評価の実施と公表	実施
	「さいたま市図書館の利用に関するアンケート」の実施と公表	実施
市民との協働	ボランティアとの協働事業数	106事業
	ボランティアとの協働事業の延実施回数	603回
関連機関(公共機関・民間機関・NPO)との連携	連携事業の連携先機関数	38機関
	職場体験の受入件数	74件
地域の特色を生かした運営	地域の特色を生かした取組	実施
親しみやすい図書館づくり	「さいたま市図書館の利用に関するアンケート」における満足度	87%
職員の資質・能力の向上	組織内研修の実施回数	65回
	派遣研修の件数	120件
専門的職員の配置	専門性の向上につながる研修の受講や講師等としての派遣	実施
	専門性を生かした適切な資料の提供や紹介	実施
施設・設備の充実	施設・設備の計画的な改修及びバリアフリー化の推進	実施
持続的で安定した図書館の運営	業務マニュアルの整備・見直し	実施
	財源確保や経費節減につながる取組	実施
危機管理体制の強化	職員の危機管理意識を高める取組	実施

③ 図書館評価

平成27年度図書館評価一覧

目 標		評価	指 標
知的 好奇心に 応える 図書館	1	B	新規登録者数=b 貸出総数=b 来館者数=b 貸出利用人数=b 市民一人当たり貸出数=b メールマガジン配信件数=a
	2	B	資料回転率=b 雑誌タイトル数=a 新聞タイトル数=b 所蔵タイトル数(図書)=a 蔵書冊数(市民一人当たり)=b 寄贈資料受入点数=b
	3	B	地域・行政資料の蔵書数=b 地域資料のデジタル化=a
	4	B	ホームページアクセス数=a インターネット端末延利用人数=b
	5	B	講座等の実施回数=b 映画会開催回数=b 展示会の開催回数=a
生きる 力を支 える 図書館	6	A	テーマ資料展示の実施回数=a 各世代向けの本の紹介資料作成=a
	7	B	レファレンス受付件数=b レファレンス事例の公開件数(年間)=b パスファインダー(調べ方案内)作成数=a 職員レファレンス研修の開催回数=a
	8	A	行政支援サービスの実施=a
	9	A	日常生活での課題解決に関わる分野の情報提供への取組=a
	10	B	音訳資料・点訳資料貸出数=b 対面朗読回数、時間数=a 宅配サービスの貸出数=a
	11	B	外国語資料の受入点数=b
	12	A	小学生の不読者の割合=a 中学生の不読者の割合=a 子ども向け行事開催数=a 読み聞かせや本に関する講座・講演会の実施=a 子ども向けの資料案内の作成=a 学校訪問・招待の実施回数=a
歩む 図書館 市民と ともに	13	A	図書館評価の実施と公表=a アンケートによる満足度調査の実施と公表=a
	14	B	ボランティアとの協働事業数=b ボランティアとの協働事業延実施回数=a
	15	A	連携事業実施機関数=a 職場体験の受入件数=a
	16	A	地域の特色に関連した資料を活用した情報発信=a
使 え る 図 書 館 誰 も が 安 心 し て	17	A	「さいたま市図書館の利用に関するアンケート」における満足度=a
	18	B	内部研修の実施回数(図書館で行われる研修全て・市主催の研修は外部とする)=a 外部研修の派遣件数(図書館以外の全て・市主催の研修を含む)=b
	19	A	専門性の向上につながる研修の受講=a 専門性を生かした適切な資料提供と紹介の実施=a
	20	A	施設・設備の計画的な改修及びバリアフリー化の推進=a 美園図書館の開館準備=a
	21	A	業務マニュアルの整備・見直し=a 図書館の管理運営における民間力活用の検討=a 新たな財源確保や経費削減の取組=a
	22	A	職員の危機管理意識を高める取組=a

評価基準

A—達成した B—ほぼ達成した C—あまり達成できなかった D—達成できなかった